

## 糖尿病と認知症のふか～い関係



全国で 950 万人の糖尿病患者さん、そして 462 万人の認知症患者さん、この2つの病気の間に「危険な関係」があることが分かってきました。糖尿病の人は認知症になりやすく認知症になると糖尿病が悪化しやすくなるのです。早い時期から**高血糖**と**低血糖**を防ぎ、認知症を予防することが必要です。

第59回日本糖尿病学会学術集会より 引用

糖尿病患者さんは糖尿病でない人と比べ、アルツハイマー型認知症が1.5倍、血管性認知症が2.5倍起こりやすいといわれています。すべての糖尿病患者さんが認知症になるわけではありません。糖尿病患者さんでは以下に示す特徴を持った人が特に認知機能低下や認知症になりやすいといわれています。

糖尿病でアルツハイマー病になるメカニズム  
それは認知症の原因物質のアミロイドβと関係があります

### 注意が必要な患者さん！

- |                      |
|----------------------|
| ① 治療を行っていない患者さん      |
| ② 運動習慣がなく運動不足の方      |
| ③ 高血糖、重症低血糖、血糖変動が多い方 |
| ④ 高血圧・脂質異常症のある方      |

予防で大切なことは・・・

- ・ 治療は中断しないで続けること
- ・ 運動習慣（週3回程度の有酸素運動）の継続
- ・ 野菜料理を入れたバランスのいい食事
- ・ **禁煙**！飲酒量の調整（アルコールの量は医師にご確認ください）

当院では、毎月第3水曜日午後2時から運動療法の一環で「歩く会」を行っています。ご興味ある方はお気軽にご参加ください。

### 「治験」とは？

製薬メーカーが開発した治療効果のある薬剤を、病院等の医療施設で使用したり薬局で販売する為には、事前に厚生労働省に承認、認可してもらうことが法律で義務づけられています。その為には承認前の薬剤を、実際に患者さんや健康な方に投与することにより、安全性と有効性を確かめる必要があります。この、「新薬開発」の為の「治療を兼ねた試験」のことを「**治験**（ちけん）」と言います。

私たちが使っている薬は多くの一般の方々がボランティアとして参加した「治験」を経て誕生しています。

当院でも治験を行っております。現在、治験に参加ご希望の方を多数募っています。ご質問等ありましたら、スタッフまでお気軽にお声をかけていただきたいと思います。

